

平成25年度 第3回 産業医科大学倫理委員会報告

開催日：平成25年6月5日（水） 15：00～17：20

場 所：1609会議室

出席者：学内：藤野、興梠、菊田、井上、中村(純)、正野、秋山、上野(晋)、小竹

学外：安元、田中

欠席者：学内：原田、廣

学外：櫻井

I. 研究倫理審査

1 新規申請

1) 申請者：健康開発科学 准教授 太田 雅規

課題名：慢性的な寒冷曝露下での身体活動の有無によるイリシン発現の違い

2) 申請者：第1内科学 講師 岡田 洋右

課題名：2型糖尿病患者におけるビタミンDの検討およびエルデカルシトールの骨代謝に及ぼす効果に対する研究

3) 申請者：第1内科学 講師 岡田 洋右

課題名：糖尿病患者における血糖変動と血圧変動についての検討

4) 申請者：第1内科学 講師 岡田 洋右

課題名：2型糖尿病患者におけるメラトニン濃度が糖代謝に及ぼす影響についての検討

5) 申請者：神経内科学 助教 武智 詩子

課題名：Benign adult familial myoclonic epilepsy(BAFME)患者における皮質興奮性の神経生理学的検討

6) 申請者：精神医学 助教 阿竹 聖和

課題名：社会適応度評価尺度（SASS）を用いたSNRI（デュロキセチン）とSSRIの有効性の比較

7) 申請者：泌尿器科学 助教 西井 久枝

課題名：先行抗コリン薬に不満足な過活動膀胱に対するフェソテロジンフマル酸塩の効果と忍容性研究

8) 申請者：第2外科学 教授 田中 文啓

課題名：完全切除非扁平上皮非小細胞肺癌に対するペメトレキセド+シスプラチン併用療法と

ビノレルビン+シスプラチン併用療法のランダム化比較第Ⅲ相試験

- 9) 申請者：耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 講師 實地 信介
課題名：ロルノキシカム（ロルカム®）の解熱・鎮痛作用の検証
- 10) 申請者：リハビリテーション医学 講師 松嶋 泰之
課題名：体力消耗状態患者に対する低負荷運動の効果 —栄養管理とリハビリテーション訓練効果との関連性について—
- 11) 申請者：作業環境計測制御学 助教 樋上 光雄
課題名：防じんマスク面体の細菌汚染とその対策
- 12) 申請者：精神医学 学内講師 堀 輝
課題名：インターネット認知行動療法を活用した職域のセルフケア教育に関する無作為化比較試験による1次予防対策の効果検証
- 13) 申請者：産業医実務研修センター 助教 永田 昌子
課題名：自治体が行う保健事業の外部委託に関する良好な実践事例の調査

13) については「承認」とし、1)～12) については指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

2 新規申請（迅速審査）

- 1) 申請者：病院救急部／呼吸器内科学 学内講師 城戸 貴志
課題名：肺挫傷におけるCTスコアの有用性の検討
- 2) 申請者：産業医実務研修センター 助教 永田 昌子
課題名：産業医教育における適正な教育時間の提供に関する調査研究
- 3) 申請者：呼吸器内科学 助教 川波 敏則
課題名：MRSA 肺炎診断・治療の実態調査

1)～3) については「承認」とする。

3 変更申請（迅速審査）

- 1) 申請者：精神保健学 助教 井上 彰臣
課題名：職場のストレスに関する調査
- 2) 申請者：眼科学 准教授 近藤 寛之
課題名：組織プラスノーゲンアクチベータ（商標名クリアクター）の眼科治療薬としての有

効性の検討

3) 申請者：眼科学 准教授 近藤 寛之

課題名：難治性血管新生疾患に対する Bevacizumab(商標名 Avastin)眼内投与による視機能改善についての臨床的研究

4) 申請者：眼科学 助教 平田 亮

課題名：羊膜移植による角結膜・強膜の眼表面再建術の有用性

1)～4)については「承認」とする。

II.平成25年度 第1回 倫理委員会専門委員会報告

開催日：平成25年5月14日(火) 11:00～12:00

場 所：1609会議室

出席者：学内：興梠、井上、谷口、秋山、大松

学外：朴、櫻井、水谷、小川

欠席者：学内：川本、上野

I 高橋委員(大学病院選出)の退任に伴う委員の変更が承認され、新委員として大松真弓看護副部長が紹介された。(任期：平成25年4月から平成26年3月)

II 前回倫理委員会専門委員会議事抄録(案)については、原案どおり承認した。

III 研究倫理審査について

1 新規申請

1) 申請者：第1内科学 准教授 齋藤 和義

課題名：自己免疫性疾患に関連する遺伝子の検索

2) 申請者：第1内科学 准教授 齋藤 和義

課題名：SLE(全身性エリテマトーデス)患者における特発性大腿骨頭壊死症の病因遺伝子に関する研究

1)及び2)については、指摘事項を適切に修正し、再提出されたものを専門委員会委員長が確認し、承認とする。